

Mozart を歌う

2016年 9 月 11 日 (日) 開場 13:30
開演 14:00



菊池万希子 (メゾ・ソプラノ)

仙台市出身。宮城学院高等学校卒、国立音楽大学声楽科卒業。
パリ16区、15区の音楽院で学んだ後2004年渡英。

ロンドンのGSMD(ギルドホール音楽院)古楽科にて修士号取得。2009年より3年間仙台オペラ協会に所属し、「ヘンゼルとグレーテル」、「鳴砂」、「愛の妙薬」、「あまんじやくとうりこひめ」などに出演。その他2011年7月 仙台市青年文化センター復活演奏会、新国立劇場中ホールにて『鳴砂』の東京公演、エルパーク仙台ギャラリーホールにて MHKS主催のコンサートシリーズ、宮城野区文化センターパトナホールでのワンコインコンサートシリーズに出演。バロック音楽にも積極的に取り組み、イタリア、オーストリアでの夏期古楽講習会への参加、仙台で2度のチェンバロとのデュオリサイタルを行っている。また仙台フィル主催のレクチャーや、指揮者講習会、その他外国人教授のレッスンなど、フランス語通訳の機会も得ている。



ピアノ:木下順子

東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修士課程修了。その後チューリヒ音楽大学大学院ソリストディプロマ取得。

8歳でアメリカ・メリーランド州ユースオーケストラとモーツァルトのピアノ協奏曲を共演したのを始め、藝大在学中もソリストに選ばれ、藝大シンフォニーオーケストラ(佐藤功太郎指揮)や、シベリウスアカデミーオーケストラと共演(ミッコ・フランク指揮)。スイス留学中もヴィンタートゥア市立オーケストラと共演し、紙上で好評を得る。宝塚ベガ音楽コンクール第3位、川崎音楽賞コンクール第2位入賞。新人オーディション最優秀賞などを受賞。文化庁派遣事業として、作曲家の服部公一氏と共にアメリカ各州を演奏旅行、また、ヨーロッパ各地などでもソロ、室内楽などの演奏会を開催した。現在は仙台フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリン奏者タタル・ヘンリと夫婦デュオとしての活動を積極的に行う。ソリストとして仙台フィルハーモニー管弦楽団と協演の他、室内楽や管楽器・弦楽器・歌曲などの伴奏、最近ではオーケストラ鍵盤奏者としても活動を広げている。

《プログラム》

- * Voi che sapete 恋とはどんなものかしら
- * Non so piu cosa son 自分で自分が分からない
(フィガロの結婚よりケルビーノのアリア)
- * E amore un ladroncello 恋は小さな泥棒
(コジ・ファン・トゥッテよりドラベッラのアリア)
- * ルイーゼが不実な恋人の手紙を焼いたとき(歌曲)KV520
- * 静けさは微笑みつつ(歌曲)KV152
- * Stizzoso, mio stizzoso 私のおこりんぼさん
ペルゴレージ作曲『奥様女中』よりセルピーナのアリア 他

会場：ルフラン 電力ホール向え路地入る

青葉区中央2-9-7 022-211-1965

一般¥3,500 学生¥2000 (お茶・ケーキ付き)

プレイガイド：ヤマハ・カワイ・当協会事務局

* 仙台モーツァルト協会会員募集

仙台モーツァルト協会は、モーツァルトの音楽を共に鑑賞し、共に語り、共に楽しみ、共に啓発し合う事を目的として昭和47年(1972年)6月に設立されました。当協会は、モーツァルトの音楽を愛好される方はどなたでも入会できます。

会員に登録されますと、会員番号としてお好きなケツヘル番号を持つことができます。(重複は出来ません)

会費は、入会金 1,000円 年会費15,000円です。詳しくは、下記事務局へ途中入会もOKです。

* 主催 仙台モーツァルト協会事務局 仙台市若林区南小泉4-7-12 TEL090-1376-5597 FAX205-1577 info@swpiano.co.jp